



慈愛の種を 播きましょう

2002～2003年度 国際ロータリーのテーマ

第2560地区
ガバナー — 佐野 孝
会長 — 松谷 昊吉
会長エレクト — 佐野 勝栄
副会長 — 渡辺 喜彦
幹事 — 渋谷 正一
副幹事 — 荻根澤 隆雄
S A A — 山田 富義
副 S A A — 杉山 幸英

例会日 — 毎週水曜日 12:30～

例会場及び事務局 — 三条市旭町2-5-10
三条信用金庫本店内

例会場 — TEL 35-3311

TEL 35-3477

事務局 — FAX 32-7095

E-mail: sanjo-ss@web-niigata.ne.jp

本日出席会員数	65名中 48名
先々週出席率	93.33%

ゲスト

第2560地区ガバナー 佐野 孝様

アシスタントガバナー 杉山太三郎様

先週のメイクアップ

9/19 越後春日山RCへ 加藤紋次郎さん

9/20 高田RCへ 加藤紋次郎さん

9/21 柏崎RC50周年へ 藤田説量さん、
松谷昊吉さん、渋谷正一さん

9/23 米山セミナーへ (長岡)
樺山 仁さん

9/24 三条北RCへ 熊倉昌平さん

会長挨拶

松谷昊吉会長

暑さも去って道路を歩いておられますと、何処からともなく金木犀の香りが漂って来る良い季節になりました。

本日は佐野ガバナー、杉山アシスタントガバナーをお迎えしての公式訪問です。お二人にはお忙しい中、大変ありがとうございます。

只、惜しむらくは、もしこの公式訪問が協議会形式で行われたとしたら、ガバナーとの関わりがより強く、敬愛の気持ちがより深いものになったものと思いますが、RIやゾーンの決めたものである以上しかたなく残念に思います。すでに8/28に協議会は杉山AGの御指導で終わっておりますので、本日はガバナーの講話をお聞きするという形ですが、せっかくの機会ですので、お話の後に質問の時間を取りたいと思いますので、お聞きになりたい事がございましたら、その時間を御利用下さい。

佐野ガバナーは、現在75歳で現役バリバリの院長

として活躍されておられ、さらにガバナーとしてのお役目ですから、そのタフさにはびっくりいたします。本日はロータリーのお話だけでなく、お元気の秘密などもお聞き出来るのかも知れません。

私共、三条ロータリークラブも現在46年目で、50周年もあとわずかです。先日、柏崎の50周年に行きましたが、今までのようなお客を大勢集めてという型から、お客の数はほどほどに自分達も楽しもうという型になりつつあるようです。

私達は大勢の先輩の努力によって創られた歴史を大切にしつつも、新しい歴史を創っていくべく努力を惜しむものではありません。

よりよいクラブ作りをするうえにも、ガバナーはじめAGや地区役員の皆様の御指導、御協力をお願いいたしまして、御挨拶いたします。

幹事報告

渋谷正一幹事

◎新潟県共同募金知名人街頭募金の実施について
ご案内がとどいております。

と き 10月3日(木) PM4:00～
ところ ジャスコ三条店

ニコニコBOX



佐野 孝ガバナー

貴クラブの益々の発展を願って。

杉山太郎アシスタントガバナー

本日はガバナー公式訪問です。よろしく願い致します。

松谷 昊吉さん、	渋谷 正一さん、
佐野 勝栄さん、	五十嵐昭一さん、
五十嵐晋三さん、	五十嵐 力さん、
五十嵐寿一さん、	石塚 欣司さん、
荻根澤隆雄さん、	小越 憲泰さん、
加藤紋次郎さん、	金子 俊郎さん、
樺山 仁さん、	川瀬 康裕さん、
川又嘉瑞範さん、	熊倉 昌平さん、
小嶋 啓義さん、	小林 敬典さん、
近藤 雄介さん、	斎藤 弘文さん、
捧 賢一さん、	佐藤 浩一さん、
佐藤 武さん、	渋谷 健一さん、
清水 良一さん、	杉山 幸英さん、
高橋 司さん、	橘 直樹さん、
外山 雅也さん、	中村 和彦さん、
西山 徳厚さん、	日戸 平太さん、
長谷川有美さん、	広岡 豊作さん、
藤田 紘一さん、	藤田 説量さん、
船越 正夫さん、	山田 富義さん、
山本 福七さん、	吉井 俊介さん、
渡辺 勝利さん、	渡辺 喜彦さん、
高森章仁さん	

佐野ガバナー及び杉山AGを歓迎申し上げます。

石橋育於さん

ガバナー佐野孝様をお迎えして。

本日のガバナー公式訪問例会の会場当二洲楼を御利用下さいまして、大変ありがとうございました。

佐野勝栄さん

佐野ガバナー及び杉山AGを歓迎申し上げます。

青木文雄さん

初めて参加させていただき、ありがとうございます。

9月25日分 ¥ 50,000

今年度累計 ¥224,000

卓 話

国際ロータリー第2560地区ガバナー

佐野 孝様



本日は三条クラブの公式訪問ということで、おじゃまさせていただきました。

昨年の春、急な事でお話を頂戴致しまして、とてもその任にあらずと、お断りしたのですが、この様な席で皆様とお会いする事になり、どうぞ

宜しく願い致します。就任してから野沢前ガバナー、貴クラブの藤田パストガバナーのご指導を頂き何とか務めさせて頂いております。

国際協議会が米国ロサンゼルス郊外のアナハイムで開催されました。2002-03RI会長ビチャイ・ラタクル氏はタイの外務大臣を務められた立派な方で、天皇陛下からも勲章をいただいております。2002-03年度国際ロータリーのテーマは「慈愛の種を播きましょう」です。「慈愛の種を播きましょう」は「奉仕」といいと思います。「世界には食べ物がなく苦しんでいる人も多いが、それ以上に愛に飢えている人がもっと多いのではないかと」申されました。それらの人々に「慈愛の種を播きましょう」ということです。しかし、そんなに人様のために奉仕を尽くし更に奉仕を尽くし、そんな奉仕を尽くしてそれにはご褒美はあるのかとの問いに、「奉仕に対する報いは、更に奉仕の機会が与えられることである」と申されました。このように清々しい、また自分というものを超えた超我の清々しいお考えに対して非常に感激した次第です。日本から行ったエレクト35名も異口同音に「このテーマでよかった」「ありがたいテーマである」と口々に、お互いに結束を誓って帰ってきた次第です。

2002-03年度の強調事項は、

- ① 職業奉仕
- ② 充実したクラブ管理
- ③ 会員増強、退会防止
- ④ 識字率向上 です。

職業奉仕について

1905(明治38)年ポールハリスがロータリーを發足させた頃のアメリカの商業道徳は地に墮ち、いかかわしい行為が横行していた。したがって、ロータリアンの資格のある人は高い職業倫理をもたなければならないという、頷ける話です。日本は仏教国で道徳的、自然と職業倫理も高いものがあつたと思う。それゆえに、既に職業奉仕を行っているのであらためて職業倫理といわれても戸惑いがあると思います。しかし、昨今の日本の各企業の倫理の乱れた姿をみ

ると高い倫理性をもっていなければいけないということが、いみじくも世の中の流れの中であらためてそういうことかと思ひ知らされます。自分の職業として周囲に誇れる内容をもって社会のために尽くす、それが第一のロータリアンの資格であるといわれると、社会的な混乱の中で教えられたような気がします。ビチャイ・ラタクル会長は、「ロータリーはクラブの集合体である」ということを強調されました。集合体であるゆえに、「今日は例会であるから出席する」ということではなく「われわれが出席することによって例会が成立する」との考えで出席していただきたいと申されました。

会員増強・退会防止について

会員の増強は大事な使命です。特に、新しい会員をお迎えする場合には、入会を特別な感激深いものにする。その感激が生涯ロータリアンでありたいというような印象深いものとしていただきたい、と申されました。わたしの考えですが、新会員に顧問・カウンセラー的な方をお付けすることも大切なことだと思います。新会員に、「そのうちわかります」ということは禁物です。「虚にしてゆき 実にして帰る」(莊子)という言葉があります。いろいろな会にでるときに、今日は行きたくないなあという気持ちになることがあります。しかし、出席してたいへん立派なところがあって充実して帰ることがあります。そのような気持ちで出席することが大事、という意味です。

「クラブを活性化させるには、会長自らが燃えなければならない」と思います。各クラブ5名の増強をお願いしたい。会員の多いクラブも小さいクラブも5名です。小さいクラブは形を整える必要があります。

国際ロータリー年次大会について

6月23-26日スペイン、バルセロナで開催された国際ロータリー年次大会に行ってきました。RI会長ビチャイ・ラタクル氏は大変元気で、RIテーマ「慈愛の種を播きましょう」の演説がありました。その中で、「胸に付けているロータリーバッジに誇りを持ちましょう。そして、ロータリーを動かすのは会長でも理事でもありません。120万の会員ひとりひとりです。自分自身を真剣に見つめ、慈愛の種を播きましょう。ロータリー世代を取り込みましょう」と結ばれました。

2003-04年度RI会長はナイジェリアのジョナサン氏が選ばれました。この方も大変誠実、清廉な人柄の方で、演説は胸を打つものがありました。元ソビエト連邦のゴルバチョフ大統領の演説がありました。世界の人々の半分の方が1日1~2ドル位の生活しかできないということが大きな問題で、世界平和がわれわれの道義的責任である、という格調の高い演

説でした。

国際大会に行きますと、各国が国旗をいかに大切に扱っているかということを感じます。国旗に対する態度は荘厳なものがあります。15年前前アメリカに派遣した夏期交換学生が「わたしはアメリカに行って愛国心を学んできました」と報告したことがありました。アメリカ国民の国旗に対する態度を体験して、感激して愛国心を知ったのだと思います。われわれロータリアンがこの若者を夏期交換学生としてアメリカに派遣したことで、立派なものをつかんでくれたと思ったことがあります。

国際奉仕について

1985（昭和60）年に開始されたポリオ（脊髄性小児麻痺）のための活動が最終目標に近づき、2005年にキャンペーンが完了するということまでできました。これに対する協力をお願いいたします。1985年ロータリーがワクチン予防接種をはじめた頃は毎年30万人くらいの発生がありました。活動の功があつてあと少しのところまでできました。我々の奉仕は目に見える地域に対する奉仕であるが、直接目にするのではない。しかし、インド、パキスタン等で直接予防接種の活動をしているロータリアンには切実な問題でありご苦労だったと思います。私たちは世界的な規模で大きな仕事をやっており、その一部をお手伝いさせていただいている。アメリカに次いで日本は会員が多く、大変大きな国際貢献をやっていられることをご理解いただきたい。

なぜ、ロータリーがそこまでやるのか、世界保健機構もあるのにという疑問があります。これは各国の政府がやるには時間がかかること、それに対してロータリーは非常に早く活動ができることです。それゆえ20年になるが、ポリオを地球上から抹殺できるという大きな仕事であると思います。



財団の新年度の目標は265,000ドルで前年度と同額です。会員1人108ドルになります。三条クラブは毎年良い成績のご寄付をいただいておりますことにお礼を申します。

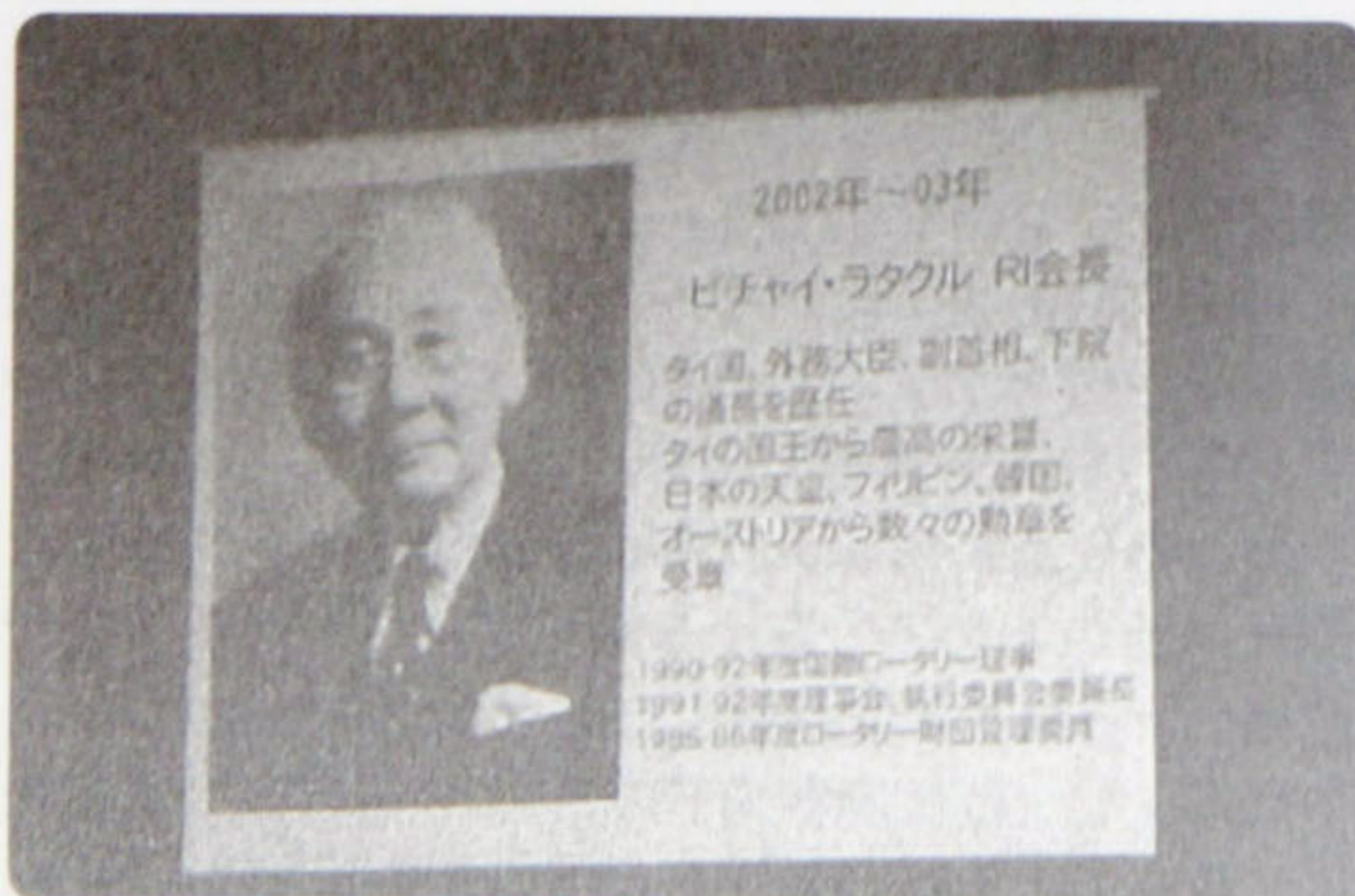
地区大会について

日本ガバナー会議長は前川昭一（東京豊島東）という方です。前川氏とわたしは深い因縁があることがわかりました。昭和19年12月13日、名古屋市の三菱重工業名古屋発動機製作所で、この工場だけで330人の死者を出すというB29による空襲と一緒に受けたという因縁であることがわかり、感激を新たにしました。地区大会には前川昭一氏が、お嬢さんとそのご主人である中曾根弘文元文部大臣と3人でおいでいただき、ごあいさつをいただけることになりました。

国際ロータリー第2560地区テーマ2002-03は「燃ゆる奉仕 我生ける しるし あり」です。気持ちだけは人様のお役に立ちたいと思いテーマを考えました。また、地区大会のシンポジウムは「教育について」です。「教え之をして 然らしむるなり」という言葉があります。人間の姿をみるときそれ全部が教育の結果である。その人柄は教育がさせている。一国の興亡、国が栄えるのも国が減びるのもそれ全て教育がしからしめているのである、ということを行っています。紀元前300年位の頃の言葉です。その昔からこういうことを言っていたという中国は大変な知恵を持った国だと思います。

10月12-13日の地区大会には1,400名の登録をいただいております。三条南クラブの皆さんにも登録をいただいておりますが、更なる特段のご協力をいただきたい。

長時間にわたり熱心にご静聴をいただきありがとうございました。



ガバナー公式訪問懇親会

於 二洲楼

皆さん、お待たせいたしました。先ほどは佐野ガバナーにおかれましては、素晴らしいご講話を頂きまして大変ありがとうございました。

又、新しい知識を得ることが出来ました。私はロータリーに入ってよかったと思うことがいくつかありますが、その一つに自分が望んで行動すれば、このように知識や経験を得る機会があることです。皆さんにも御利用いただきたいと思ひます。

さて、これから親睦主幹の懇親の集いに入りますが、南・北ともテーブル席でしたので、あえて腰をすえて楽しんでいただけるように純和風にしつらえました。

一見しますとガバナーはあまりお酒は召し上がりず、AGは2升、3升、ドーンと来いというような感じですが、実際はむしろ逆で、ガバナーはこういう席がお好きでお酒もめっぽうお強いと聞きました。どうぞ、心を込めた二洲楼さんの御料理をお楽しみいただき、お酒もたっぷり飲んでいただき、時間の許す限り私共会員と懇親を深めていっていただきたいと思ひます。

開宴の御挨拶といたします。





次週例会 10月9日 外部卓話 勤労青少年ホーム
館長 長谷川トミエ様

次々週例会 10月16日 夜例会「秋の味覚例会」於 岩室温泉 松葉屋

